

## 強く大きな組織へ発展めざす

島根県地域人権運動連合会(略称〓しまね人権連)は7月22日、第8回総会を大田市内で開催しました。大田、松江支部をはじめ邑南、出雲支部準備会のメンバーが出席したほか近隣の地方議員も参加しました。

大西修県連議長が開会あいさつを兼ねて情勢報告。安倍内閣の国政私物化、改憲策動の企てを打ち破り、定義も明らかでない「部落差別解消法」の実効化阻止のために全力を尽くそうと訴え、片寄直行事務局長が前回総会以降の2年間の活動の総括と運動方針を提起しました。

片寄事務局長は、6月に大分県で開催された全国人権連第8回定期大会で島根県連の永井哲夫副議長が発言した内容を紹介。内閣府が行う意識調査で「部落関連の差別があると思うか」との設問に大田市では4割の人が「そう思う」と回答しているのに、大田市独自に設定した追加項目で「実際に身のまわりで起きたことを聞いたことがありますか」との質問にはまったく回答がなかったことを対比し、非科学的な内閣府の調査を改めさせようと訴えました。

討論では、人権を考える集いで読者を倍加した出雲支部準備会の経験、性的少数者をめぐる問題での地方議員の報告がありました。

県連の活動を紹介するニュースが発行されていないことがこの総括のもと、今回から定期的なニュースの発行をすることになりました。



大田市で開催された第8回総会

大西議長、永井副議長、片寄事務局長が全国大会参加

# 地域と人権

しまね版

2018年8月15日 第1号

<発行> 島根県地域人権運動連合会

〒690-0812 松江市川原町41-1

TEL・FAX 0852-34-0041



6月23〜24日、大分県別府市で開催された全国人権連第8回大会に島根県連から3人の代議員が参加しました。(右から)片寄直行事務局長(松江)、大西修議長(大田)、永井哲夫副議長(邑南)。

清水信江さん(大田)は、全国常任幹事の役員に就任。2期目です。

(裏面につづく)